Canon

シングル-8

518SV



使用説明書

このたびはキヤノンシングル-8 518SVをお選びくださいましてまことにありがとうございます.

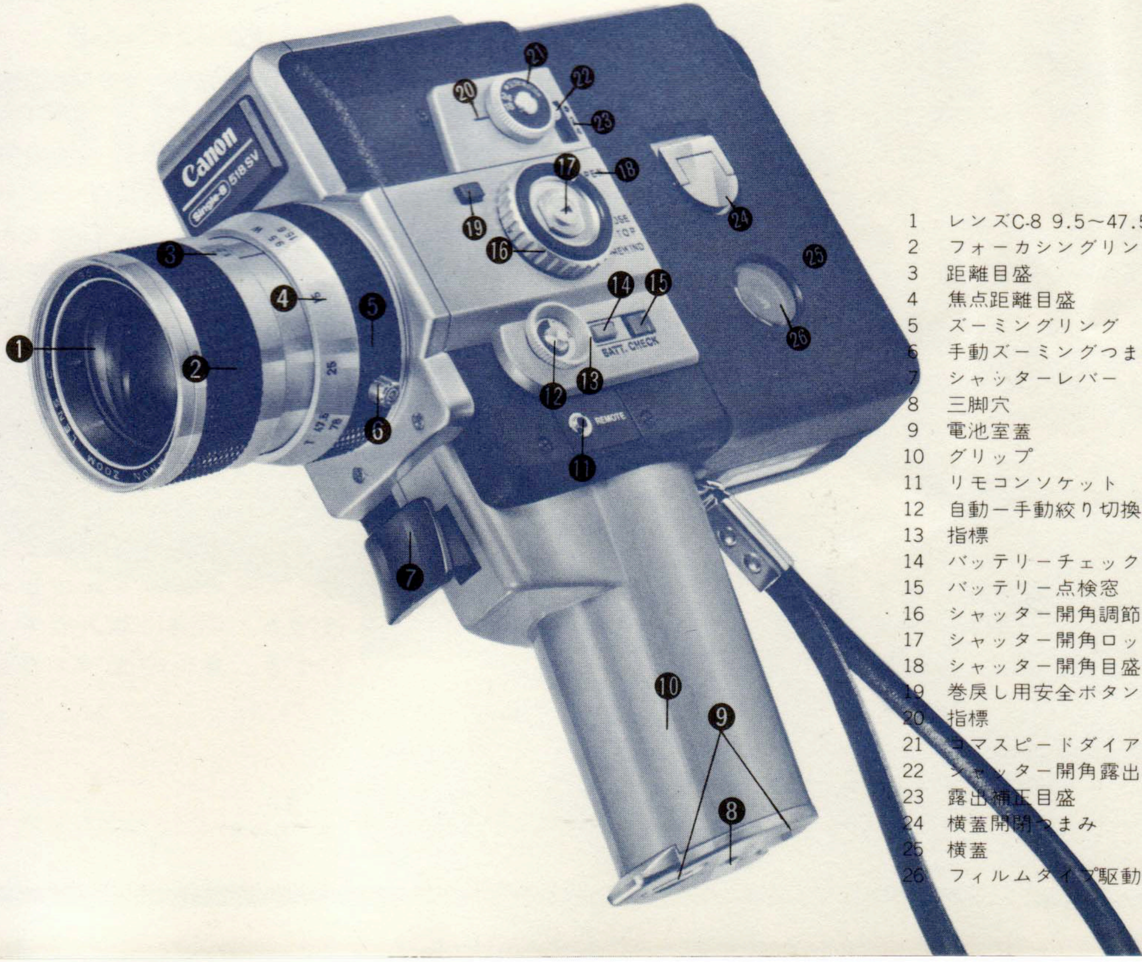
キヤノンは世界のカメラとして親しまれ，わが国写真界発展の道をひらくとともに，各種のキヤノン製品を通じて「より豊かな生活」の実現にたゆまぬ努力を続けてまいりました.
つねに新しい感覚をとり入れ皆様の要望にマッチした製品企画にもとづいて，よりすぐれたキヤノンをお届けすることに心がけております.
したがって品質性能はもちろん，デザイン，価格などのすべてにわたって，必ずご愛用者皆様のご満足を頂けるものと信じております.
ご家庭に，ご研究に，ご旅行ハイキングにキヤノン製品を十二分にご利用くださることを念願いたしております.



ご使用のはじめに必ず使用書をお読みください.

この使用書は，はじめにEE撮影のできるまでを，操作手順を中心に説明し，つぎに各種の機構を利用する応用的使い方に進みました．最初から，フィルムをつめて撮影に入ってもさしつかえありませんが，念のためフィルム装塡の前に，手順通りに操作し，各種の機構をよく理解することが大切です．また実際の取扱いに慣れておけば，ズーミングとかフェード技法を，円滑に取入れることができ，良い映画づくりへの近道となるでしょう.

＊都合により製品の外観デザイン等，一部を変更することがあります.



1　レンズC-8 9.5〜47.5mm f/1.8
2　フォーカシングリング
3　距離目盛
4　焦点距離目盛
5　ズーミングリング
6　手動ズーミングつまみ
7　シャッターレバー
8　三脚穴
9　電池室蓋
10　グリップ
11　リモコンソケット
12　自動ー手動絞り切換えリング
13　指標
14　バッテリーチェックボタン
15　バッテリー点検窓
16　シャッター開角調節リング
17　シャッター開角ロック
18　シャッター開角目盛
19　巻戻し用安全ボタン
20　指標
21　コマスピードダイアル
22　シャッター開角露出補正ツマミ
23　露出補正目盛
24　横蓋開閉つまみ
25　横蓋
26　フィルムタイプ駆動確認窓

キヤノン シングル-8 518 SVの主要性能

形　式：シングル8フィルム使用の簡易装填方式8mm
シネカメラ

画面サイズ：5.4×4mm（映写画面）

レンズ：焦点距離9.5～47.5mm（ズーム比5）明るさF1.8 11群14枚構成　内径：48mm 外径：50mm／コーティング：スペクトラコーティング／ワイドコンバーター0.65Xの使用により6.2～31mmの広角系ズームに変換　テレコンバーター1.6Xの使用により15.6～78mmの望遠系ズームに変換～78mm の望遠系ズームに変換

ファインダー：一眼レフ式，プリズムスクリーン距離計およびメーター情報（絞り目盛，指針，露出過不足マーク，フィルム完了予告シグナルなど完備，視度調節可能（－3～＋2ジオプター）

EE 機構：CdS利用の TTL方式サーボEE，使用フィルム，コマスピードに連動する自動絞り機構

測光範囲：ASA200・F 1.8・18コマ・シャッター開角OPEN～ASA25・F32・SLOW MOTION・シャッター開角4

フィルム感度：ASA 25，50，100，200マガジンによる自動セット

絞りの調節：切換えリングの操作で自動絞り，手動絞り可能（押込んだ位置で EE，引上げて回転し任意の手動絞り撮影可能）

コマスピード：18コマ，24コマ，SLOW MOTIONおよび1コマ

シャッター開角：0～150°（操作ダイアルによる）測光補正機構つき

操作ダイアル：OPEN　2　4　CLOSE STOP REWIND（シャッター開角ロック　巻戻し用安全ボタンつき）

駆動方式：高性能電動モーターによるフィルム送りおよび電動巻戻し

ズーミング方式：電動モーターによる電動ズーミングならびに手動

電動ズーミング速度：約6秒

駆動電源：単三乾電池4本，グリップ内に収納，常温で10本以上のフィルム送り可能

巻戻し機構：REWIND 位置（シャッター開角全閉位置）にて電動巻戻し可能（二重露出用）

フィルムカウンター：自動復帰順算式

巻戻しインジケーター：コマ数表示式（可動式巻戻し指標つき）

バッテリーチェッカー：駆動電源の点検用，チェックボタンおよび読取り窓あり

切換えスイッチ：OFF（断）R（ランニング）RL（ランニングロック）の切換え用

各種レリーズソケット：リモコン用，ランニング用，1コマ撮影用

リモートコントロール：リモートスイッチにより可能

アクセサリー：テレコンバーター，ワイドコンバーター，フード，フィルター，クローズアップレンズ，リモートスイッチなど

安全装置など：フィルムタイプおよび駆動確認窓，など完備

大きさ・重量：208（長）×201（高）×60（厚）mm・1,300g

キヤノン シングル-8 518SVの特長

1 シャープな高性能ズーム
フィルムサイズを最高度に生かすために新種ガラスを更に増して，シャープな画面をお約束する高性能5倍ズーム．完全ズームの迫力が楽しめます．

2 新開発のワイドコンバーターで撮影範囲が拡大
0.65Xのワイドコンバーターで広角側の撮影範囲が，飛躍的に広がりました．テレコンバーターとの併用で，超広角6.2mmから超望遠78mmまでのダイナミックな表現がとり入れられます．

3 簡単なマガジン装填　フィルム感度の自動セット

4 電動ズーム　電動フィルム送り　電動巻戻し
初めての方にもスムーズな操作が行なえます．

5 TTL式サーボEE機構
レンズおよび絞りを通った光を測るCdS利用の強力なサーボ回路による，応答特性にすぐれ耐震性に富む正確なEE機構を採用．F32の最小絞りをも採用した高精度機構．

6 精度の高い焦点面測光
絞りの後方，焦点面に最も近い位置に受光素子CdSを配置して精度を増した完全TTL測光，安定した露出が得られます．

7 シャッター開角機構
150°から全閉0°まで連続変化のシャッター開角機構の採用で，露出量の調節および完全なフェーディングが可能です．

8 電動式自動巻戻しとオーバーラップ
8mm映画にバラエティを与える巻戻し機構，これにより高級テクニックのオーバーラップ撮影が可能です．

9 明るく精度の高いファインダー
ファインダーの瞳径を大きくして明るさを増し，見たそのままが撮影できる一眼レフ式ファインダー，眼の特性に合わせて設計された精度の高い距離計用マイクロプリズムおよびメーター情報をもっています．

10 その他
手動絞り可能，リモコン操作，電池の点検，露出補正機構，フィルム残量予告など．

シングル-8 のフィルムと撮影について

＊シングル-8のフィルムは，片道撮影用の8mm幅15m長のものが，専用マガジンに収納されています．したがって一度装填すれば、往復撮影の必要がありません．

＊シングル-8のマガジンは，カメラ側のASA感度連動ピンに連動し，フィルム感度が自動的にセットされる方式です．そのためフィルム装填と同時にEE機構がはたらき，直ちに撮影できる状態になります．

＊途中でフィルムマガジン交換ができます．その場合の無駄は，12cm程度のわずかなものです．

＊8mmフィルムは，反転現像によって陽画を得るリバーサルタイプですから，普通のフィルムに比べて，ラチチュードが狭くなっています．手動絞りで撮影する場合には，この点を考慮して，特に露出を厳密にする必要があります．

＊撮影済みのフィルムは，指定の現像所に送ると，リールに巻かれて，そのまま映写できる状態で返送されます．

カメラの準備

1.電池をつめます	2.視度調節をします	3.フィルムをつめます.



⊕⊖に注意
単3(UM)4本



＊バッテリーの点検



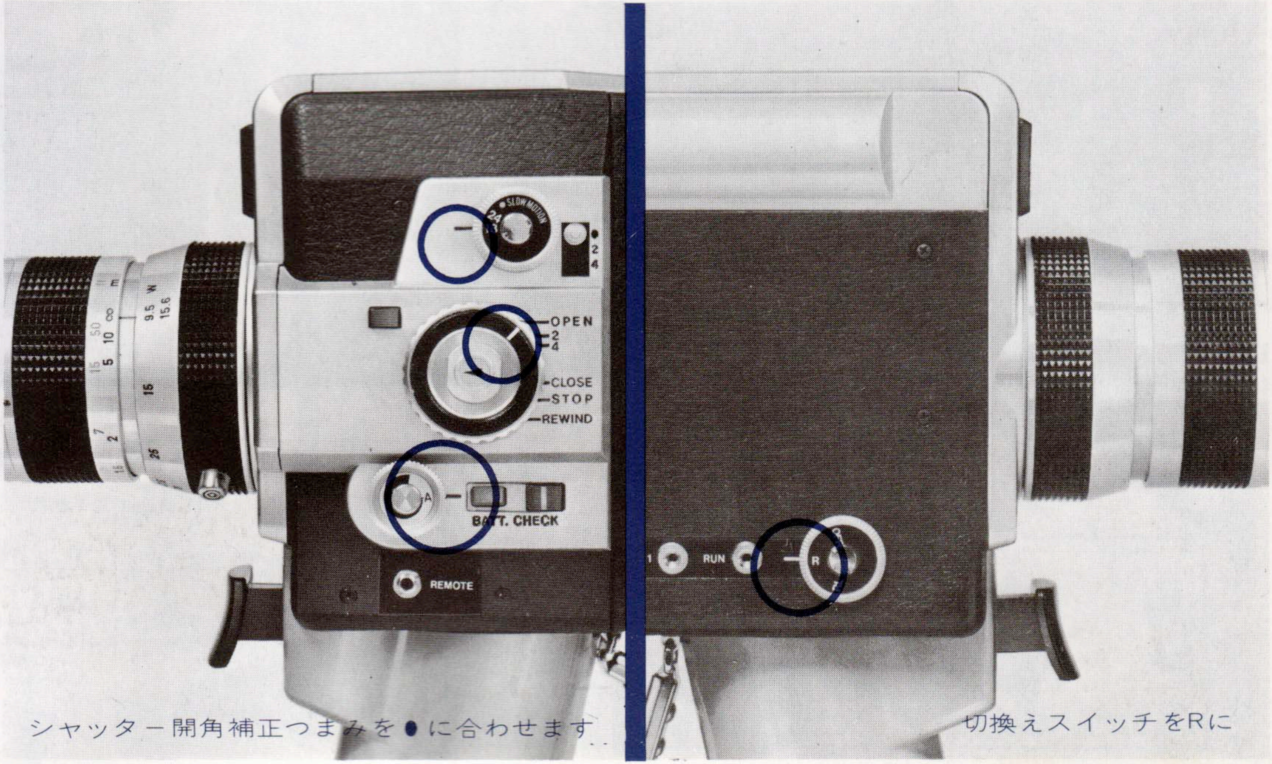
＊ファインダー内のマイクロプリズムの線が一番ハッキリ見えるように視度調節をします.



4.切換えリングを押し込みます
5.18コマにセット

6.シャッター開角調節リングをOPENに.

7.露出補正つまみを●に合わせます
8.切換えスイッチをRにします

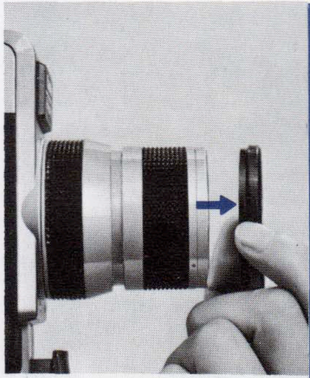


シャッター開角補正つまみを●に合わせます

切換えスイッチをRに

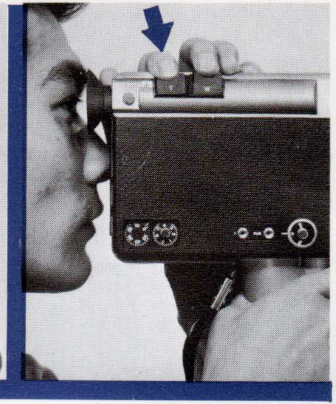
撮影の手順

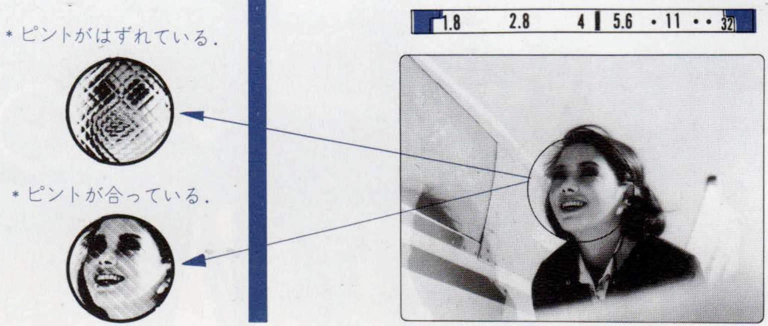
9.ファインダーを覗きピントを合わせます　10.望遠側でピントを合わせ，ズーミングして構図を決める．



8.ファインダーを覗き，
ピントを合わせます．



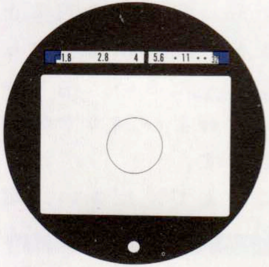


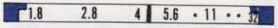


11.シャッターレバーを軽く押し
メーター指針を確かめます.

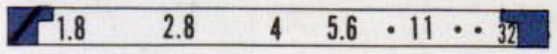
12.シャッターレバーを引く.

13.撮影完了後フィルムを取出します.

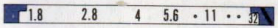




適正露出



露出不足で撮影不可
（左赤マーク内）



露出オーバー
シャッター開角調節または
ND フィルターを使用して
撮影
（右赤マーク内）







準備

キヤノンシングル-8 518 SVは，電動フィルミング，電動ズーミング，サーボEE 回路の電源を，すべて兼用する方式を採用しています．

1　電池の入れ方

●新しい単3乾電池を4本用意してください．

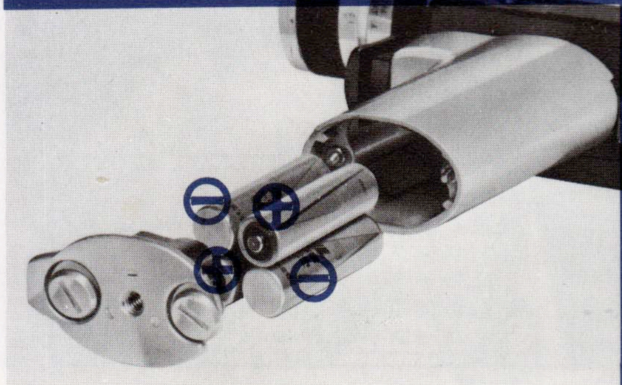
●グリップ底部の電池室蓋2コを硬貨で左回しに回して取りはずします．●グリップ内の図に従って電池の⊕⊖を間違えぬようさし入れ，蓋をしめてください．

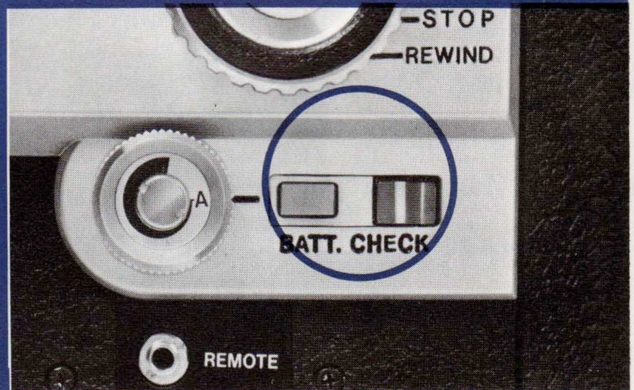
2　電池の点検

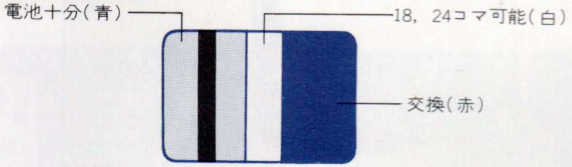
電池を装塡したならば，電圧をチェックします．

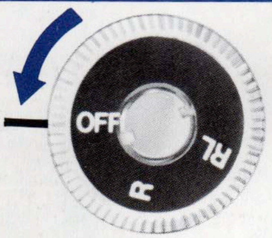
●チェックボタンを押し，バッテリー点検窓内の指針が青マークまで進めば十分，赤マーク内に止まった場合にはフィルム送りが可能の状態であっても必ず新しい電池と交換してください．白マーク上に止まった場合は，18コマおよび24コマのシャッタースピードで使用できます．

＊電池交換は4本とも同時にかえてください．電池は性能の良いもので，同一銘柄品をお選びください．

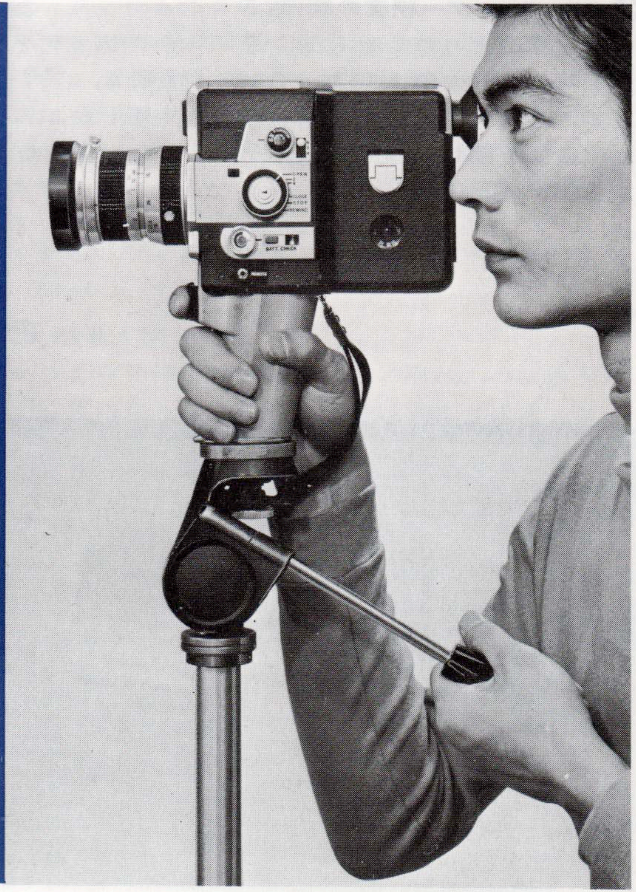






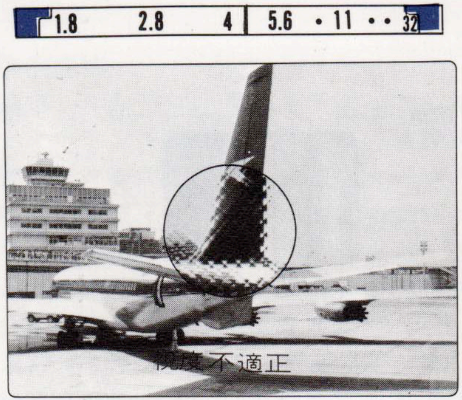


* 撮影時以外は，必ず切換えスイッチをOFFにしてください．電源と駆動部の回路が完全に切れ無駄な電池の消耗を防ぎます．
* 長期間，使用しないとき（1ヵ月以上にわたる場合）は，電池の液がもれるおそれがありますから，カメラから電池を抜きとっておいてください．



3 ファインダー視度の調節

視度調節用止めねじを，左に回してゆるめ，カメラを明るい方に向けてファインダーを覗き，プリズムスクリーン距離計の線がハッキリ見えるように接眼部を回して調節し，合ったところで止めねじを締付けます．







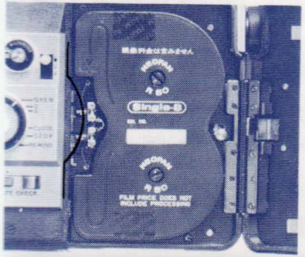
4　フィルムのつめ方

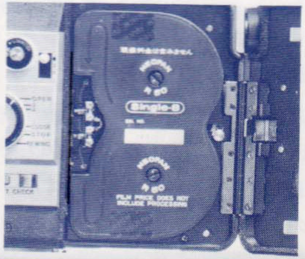
●横蓋開閉つまみを，左回しに回し蓋が浮き上ったところで手前に引くと横蓋が開きます．●フィルムを用意し，マガジンのラベル面を上にして，装填図に従い，マガジンから露出しているフィルムを，フィルムゲートにはさむようにして平らに落し込みます．

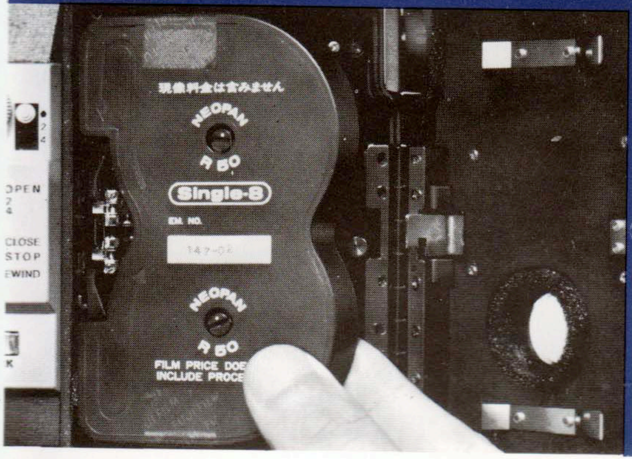
＊新しいフィルムには，スタートマークを示す矢印がついています．

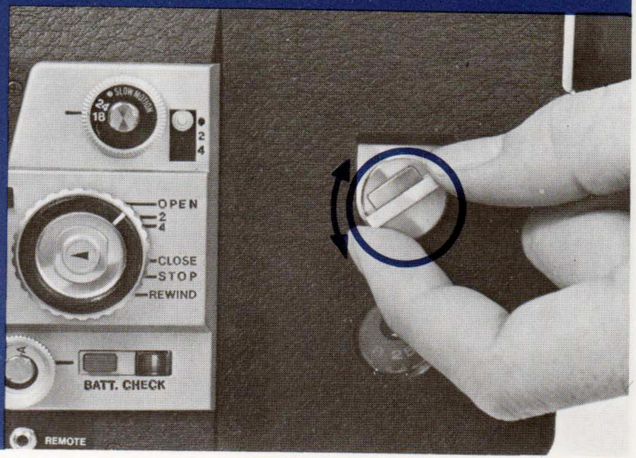
5　横蓋を閉じます

●つまみを押しつけ気味に右に回し，つまみが水平位置になったところで横蓋は締まります．





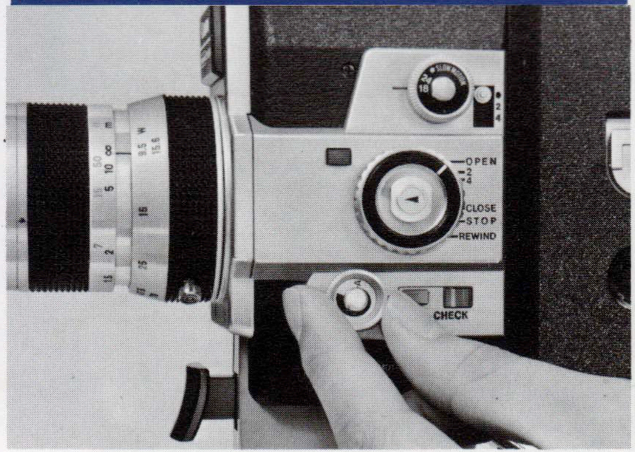




EE撮影の準備

6 EE－手動切換えリングを押し込みます

このリングが押し込んであればEEが働らき，引出されていると手動絞りとなります．確認してください．



7 シャッター開角調節リングをOPENにあわせます

シャッター開角調節リングは，シャッター開角による露出調節およびフェード技法に用いるものですが，一般のEE撮影の場合にはOPEN 位置で使用します．

シャッター開角ロックを矢印方向へ動かすとロックが解除されて，シャッター開角調節リングは自由に回せます．したがって OPEN 位置に指標を合わせシャッター開角ロックを矢印(◀)の方向と逆の方向に動かしリングを固定してください．このリングが撮影中に動くと露出が狂いますから必ず固定してください．ロック位置はOPEN，2，4の3ヵ所です．その他の位置ではロックできません．

8 露出補正つまみを●にセットします

＊通常のEE撮影の場合，　つまみが●位置にないと，適正露出は得られません．

9 コマスピードのセット

シングル-8では，18コマが標準スピードです．

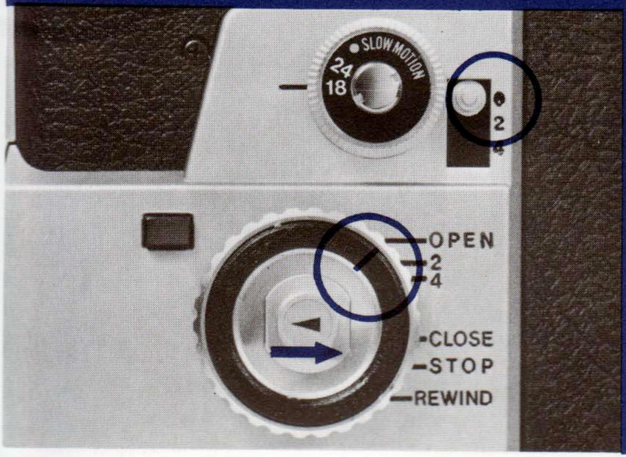
●コマスピードダイアルを回して18の数値を指標に合わせます．

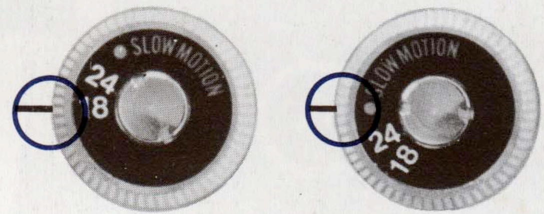
＊18コマで撮影したフィルムを，18コマのスピードで映写すれば，画像の動きが最も正常です．

＊スローモーション（SLOW MOTION）のマークは，高速用で約36コマで撮影がおこなわれます．したがって18コマの標準スピードにくらべ，映写した場合動きがゆるやかに見え，また露出時間も短くなります．

スローモーション撮影は●動きを和らげて表現したい，●ズーミング効果を伸ばしたい，●移動撮影やパンニングのブレ防止用，などに効果的です．

●露出は，コマスピードを変えても自動的に補正されますので心配ありません．





スローモーション

10 切換えスイッチをRに回します

●すべての回路がつながりシャッターがはたらく状態となります．スイッチOFFは電源スイッチが切れシャッターもメーターも作動しない安全位置です．

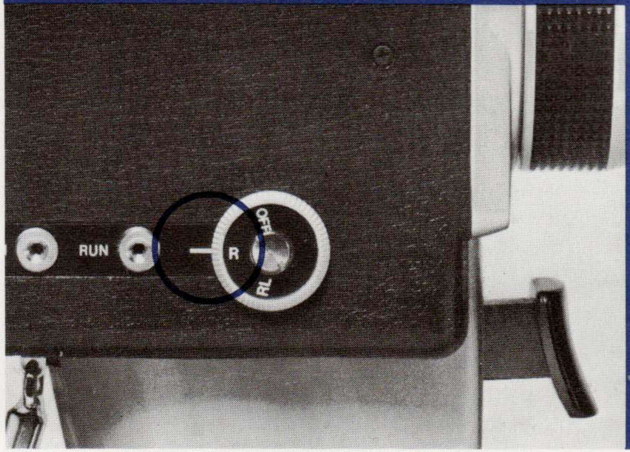
●RLはランニングロックの意味で，連続撮影ができます．(29ページ参照)

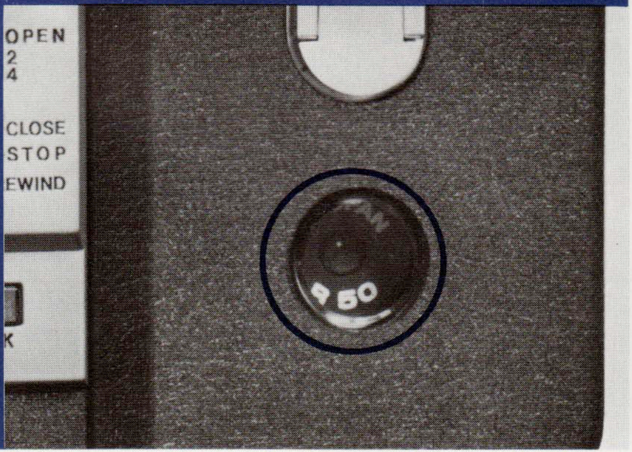
＊またリモコンの作動位置を兼ねます．

11 フィルム送りの確認

シングル-8 518 SV はサーボ式EEのためシャッターレリーズは二段式となっており，強く引いた二段目でフィルムが送られます．フィルム駆動確認窓を見ながらシャッターレバーを引いてください．巻取り軸が回転すれば，フィルム送りは，正常です．

＊回転しない場合は，マガジンを装填しなおしてください．





12 フィルムカウンター

フィルムカウンターは，左側が1目盛2フィートのフーテージカウンター，右側が1目盛2コマ1回転1フィート72コマのコマ数カウンターとなっています（28ページ参照）

＊フーテージカウンターの目盛は，横蓋を開くと自動的に0位置に戻ります．

＊コマ数カウンターは，オーバーラップ撮影時にフィルムを戻すのに用います．

13 フィルム完了予告シグナル

●撮影が進み，フィルムの残量が約2フィートになると，ファインダー内に黄色フィルム完了予告シグナルが点灯します．

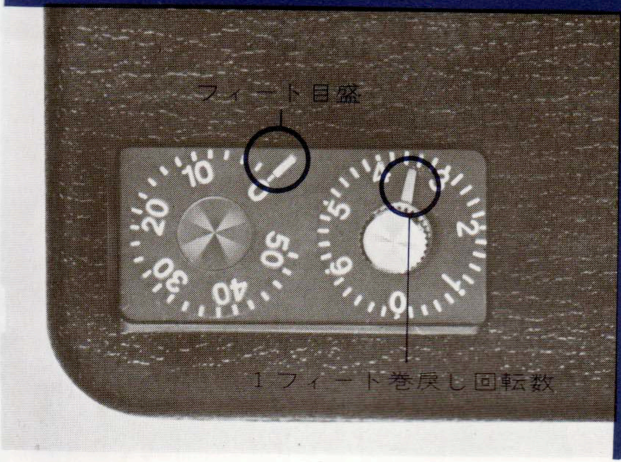
したがって，シグナルが点灯してからは注意しながら50ftまで撮影してください．

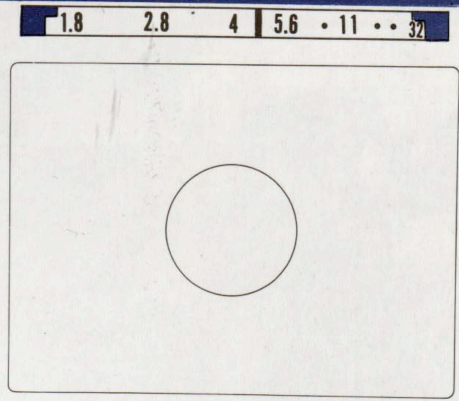
＊フィルム完了予告シグナルは，シャッターレバーを引いているときのみ点灯し，横蓋をいったん開きますと，残量が2フィートであってもシグナルは点灯しません．

14 フィルム感度

マガジンの装塡により，自動的にセットされ外部からの調節は全く不要です．

使用できるフィルム感度：ASA 25 50 100 200





撮　影－1

1　構え方

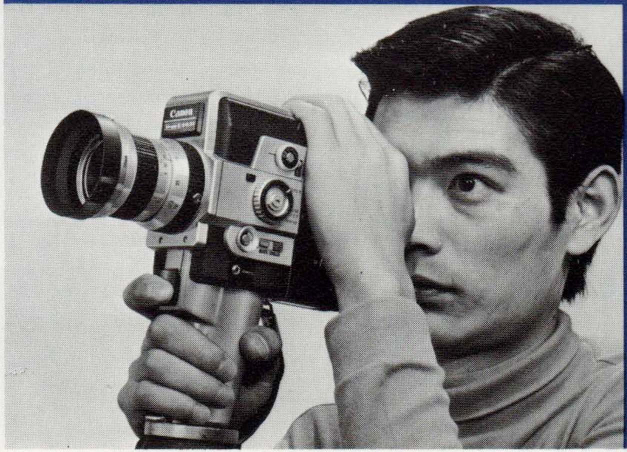
●右手でグリップを握り，人差し指あるいは中指を一緒に，シャッターレバーにかけ，左手でピント合わせとズーミングをおこないます．
撮影中カメラの安定が十分でないと映写時に画面が躍って非常に見にくくなります．とくに望遠撮影やズーミングには注意してください．大型三脚に取付け，ケーブルレリーズをおすすめします．（キヤノン高級レリーズ30及び50のご使用をとくにお勧めします．

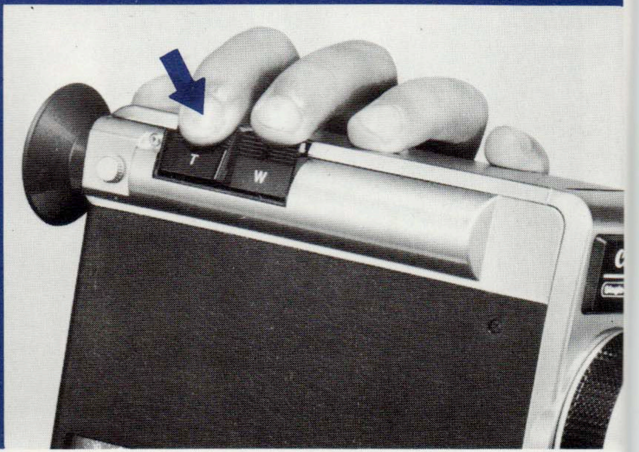
2　ズーミング

ファインダーを覗き，ズーミングリングを回すか
ズーミングボタンを押すと，像の倍率が変ります
これによって被写体のトリミングをおこなったり
連続的に変倍させるズーム効果を表現したりします

●電動ズーミング

どちらかのズーミングスイッチを押すと，ズーミ
ングがはじまります．ズーミングのスイッチの T
は望遠側へ，W は広角側へ倍率が変ります．撮影
中に押せば，きわめて滑らかにズーム効果が取入
れられます．
ズーミング時間は約６秒です．



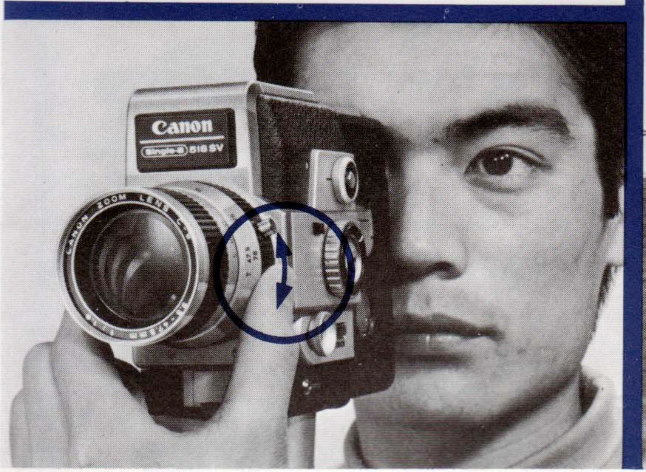


● **手動ズーミング**

電動ズーミングは，一定時間でズーム効果を出しますが，急激なズーミング，緩慢なズーミングのように，ズーミング速度を変えたいとき，また被写体の大きさを正確にきめたいときには，ズーミングリングを回してください．

＊ファインダー倍率は，焦点距離が15mm のとき等倍です．

● 焦点距離は鏡胴の距離指標の位置で続取ります．





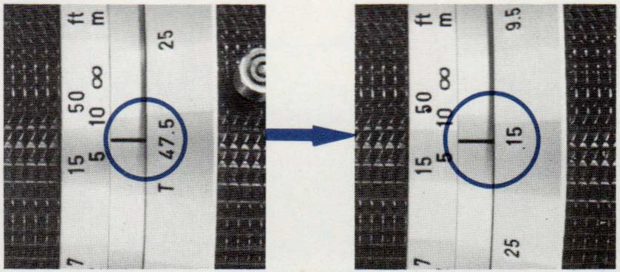
3　ピント合わせ

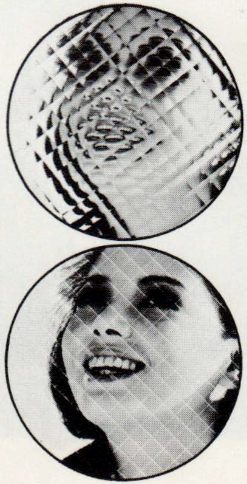
ファインダーを覗きき，フォーカシングリングを回して，中央部のプリズムスクリーン距離計部の像が，もっともハッキリ見えるように調節します．合致像の見分けは，焦点距離が長い場合ほど楽で正確です．ズーミングしても，ピントは変りませんから望遠側の最大倍率でピント合わせをおこない，必要倍率まで戻してください．

＊広角側でピントを合わせてから望遠側に戻すとピントがはずれますから，ご注意ください．

4　構図をきめます

ファインダーは，一眼レフ式で視差がなく，見た通りに撮影できます．構図は視野一杯にきめてください．被写体の大きさは近寄るか，またはズーミングによってきめてください．





ピントがはずれる

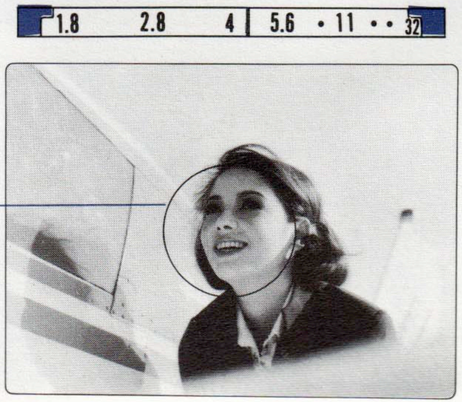
ピントが合う

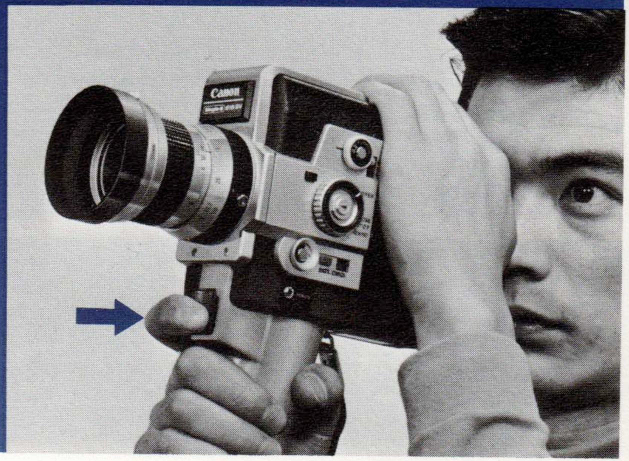
5　絞り指針の確認

シャッターレバーは２段に押し，第１段でメーター回路がつながり指針が振れます．その状態で指針が警告マークに入っていなければ撮影 OKです．シャッターレバーをさらに強く引くと適正露出でフィルム駆動が行なわれます．

メーター指針が左赤マークに入ったら露出不足ですから照明を明るくしてください．反対の右赤マークに入ったら露出オーバーの状態ですからシャッター開角または ND フィルターを利用してください．(24，39ページ参照) 切換えスイッチが OFF の場合は，指針は作動しません．

6　シャッターレバーを引きます



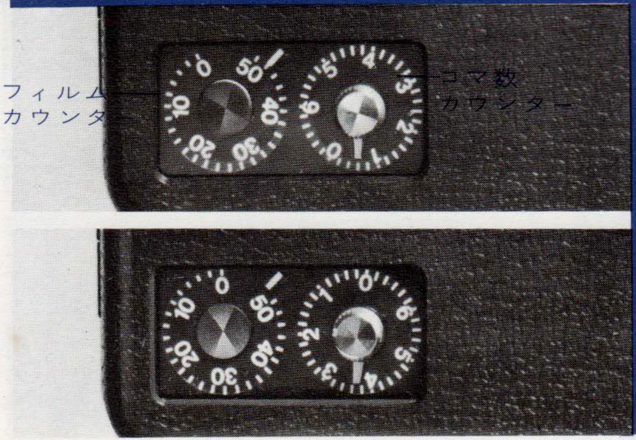


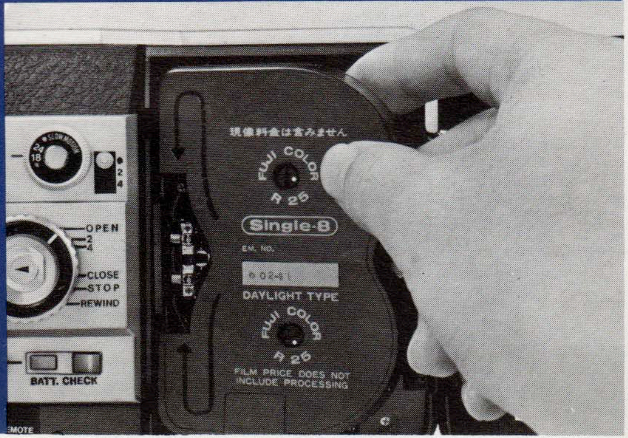
7 撮影完了とフィルムの取出し

シングル-8 フィルムは，50フィートの片道撮りですから，フィルムカウンターが50になったならば，撮影を止めます.（フィルム完了は，フィルム完了予告シグナルによりファインダー内で確認できます）.確認窓の巻取り軸が止まるまで空送りしたのち，横蓋を開いてマガジンを取出します．操作が終ると駆動音が変わりますから判別できます．カウンターで確認してください．

＊撮影済みフィルムは，パーフォレーションに切欠きがありますから，未撮影のフィルムと区別できます．

＊撮影済みのフィルムは，早目に指定の包装袋に入れ，現像にお出しください．

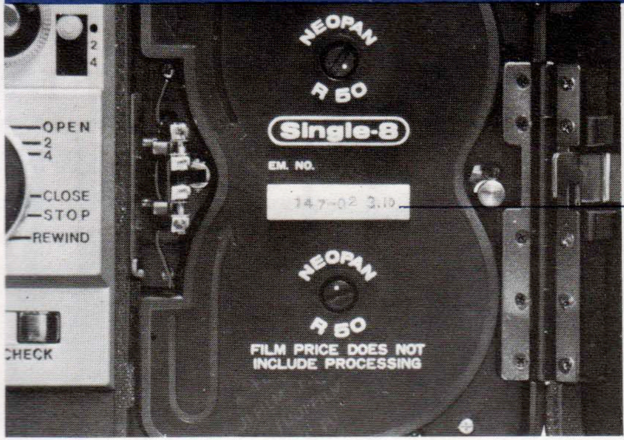




8 フィルムの途中交換

シングル-8フィルムはマガジン式ですから，撮影途中で，タイプの異るフィルムマガジンと交換することができます．交換によって，フィルムにカブリの生ずる程度はマガジンから出ている分とその前後を含めて12cm程度です．交換に際して次のことにご注意ください．

* 撮影済みの最後の露光部分にカブリを生じないようにわずかに空送りしてください．
* 横蓋開閉の操作で，フィルムカウンターが0復帰するため，あらかじめ撮影量をカウンターで読取り，マガジンにメモしておくようお勧めします．
* 途中交換したマガジンを用いる場合には，フィルム完了予告シグナルが点灯しないことがあります．



鉛筆で文字が書けます

撮影—2〈進んだ使い方〉

手動絞り撮影

絞り露出量の調節をするもので各1目盛数値が大きくなるごとに明るさが半分になるようになっています.

このカメラはEE撮影が主体となっているため通常では必要ありませんが，逆光，ハイキー，ローキーなどといった露光量の調節による効果を強調したい場合あるいは1コマ撮りなどに手動で絞りが調節できるようになっています.

EEと手動絞りの切換えは，切換えリングを引出して手動，押し込んでEEとなります.

＊EE-手動切換えリングを引き出すとメーター指針は左端に移動します．ついで切換えリングを反時計方向に回すと指針は絞る方向に移動し時計方向に回すと開く方向に移動します．指針が赤マークに入ると，それ以上同一方向に回しても動きませんから反対方向に回して必要絞り値にセットしてください.

逆光コントロール

手動絞りセットを利用して，絞りを適正値より，一目盛開いて撮影するかシャッター開角補正つまみを2にセットして撮影します.

＊18コマで手動絞り撮影をおこなう場合自動－手動絞り切換えリングをAにセットし，シャッターレバーを軽く引きファインダー内の絞り指針が位置した絞り値が適正値です.

シャッター開角機構

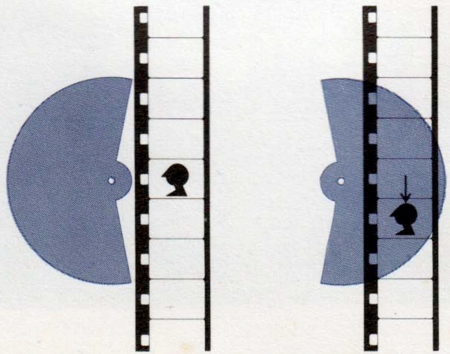
8ミリカメラのシャッターは，フィルム送りと関連し，その露出は一定の角度をもつ半円形の羽根の回転によって与えられます.

そして，この羽根の1回転の間に1コマ分が露出されて送られます.

原理的には，羽根の開いた部分がアパーチュア部にきたときにフィルムが止まっていて露光され，羽根がアパーチュア部をさえぎったときに露光の終った1コマが送り出されます．従って露光量は，この羽根の回転速度と羽根の開き量によって変ることになります.

回転の速さは，いわゆるコマスピードで羽根の開き量はシャッター開角と呼ばれているものです.

このシャッター開角の調節機構は，露光量の調節やフェード撮影に用います.



シャッター開角による露出調節

8mmの場合は，スチルと異なりコマスピードをやたらに変更することはできません．
その訳は，標準18コマで撮り標準コマスピードで映写するからです．
したがって，露出調節はコマスピード側では望めず，つねに絞りに頼ることになってしまいます．
そこで絞りだけに頼らずシャッターでも露光を変えようとするのがシャッター開角機構で，同じコマスピードでもシャッターの開き角を変えることによって露出調節をおこなえるものです．
シングル-8 518SVのシャッター開角は150°から0°まで連続可変かつ4段階の目盛をもち露出時間の調節とフェーディングを容易におこなえるよう配慮しています．通常の撮影ではシャッター開角調節リングはOPEN位置ですが，このリングをCLOSE側に回すことで，シャッターの開き角を変え，露出量の調節をおこなうことができます．

シャッター開角調節リングの使い方

①調節リング上のシャッター開角ロックを，矢印方向に指先で押しロックを解除します．②シャッター開角調節リングを回し2に指標を合わせるとコマスピードとは関係なくOPENに比べ露出量は，½となり，4の目盛位置では¼の露出量となります．

露出補正

シャッター開角を変えると露光量がそれぞれ½，¼に変わりますからEEで撮影する場合，適正露出になるようにメーターの露出補正をする必要があります．この補正を行なうのが露出補正つまみです．シャッター開角調節リングのセットした目盛と同一の目盛にセットしてください．③このシャッター開角は動きの早い被写体を標準コマスピードでとらえる場合や明るすぎる場合に使用します．(但し動きが解析的になりぎこちなくなります)
④調節したらシャッター開角をロックしてください．

- シャッター開角目盛が2の場合，露出補正つまみを2に合わせます．
- 開角4の場合も同様に露出補正つまみを4にセットします．
- コマスピードとシャッター開角の関係．

開角目盛	開角度	露出時間／コマ数 18	24
OPEN	150°	1/43	1/58
2	75°	1/86	1/115
4	37°	1/173	1/230
CLOSE	0°	全閉	

（フェードアウト）溶暗

シャッター開角調節リングをOPENからCLOSE まで撮影しながら回すと，開角度が連続して狭くなり，画面は徐々に暗さを増し全閉で暗黒になります．この効果をフェードアウト，即ち溶暗技法と呼んでいます．さらにリングをSTOP位置まで進めると，シャッターレリーズ中でも自動的にフィルム送りが止まり，無駄写しを防ぎます．

フェードイン（溶明）

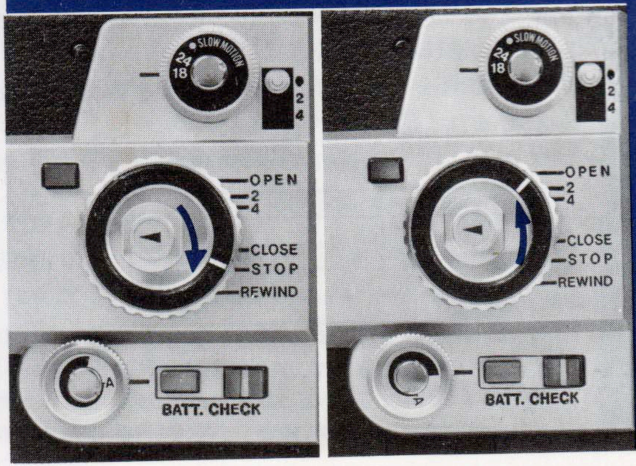
STOP 位置から CLOSE を径て，徐々に調節リングを OPEN 側に回しながら，撮影を続けると真暗な画面から次第に明るい画面に変る効課が得られます．これをフェードインと呼びます．

* フェード技法は，映画の場面転換の方法としては，重要なテクニックで，大体映画の初めに用いられるのがフェードイン，終りに用いられるのがフェードアウトです．

そのほかフェード技法は，時間経過や大きな場面転換に用いられるものですから濫用は禁物です．フェード技法を場面転換に使う場合でも 2 ～ 3 秒までが適当な長さです．

オーバーラップ（二重露出）

フェードアウト，フェードインの組合わせにより





画像をダブらせてスムーズに場面転換をおこなう技法がオーバーラップです．
手順としては以下の通りですが，きめこまかい操作が必要です．

1 調節リングで，まずフェードアウトします．

2 次にフェードアウトした分だけフィルムを巻戻します．

3 巻戻したフィルムに次の場面をフェードインして二重露出します．

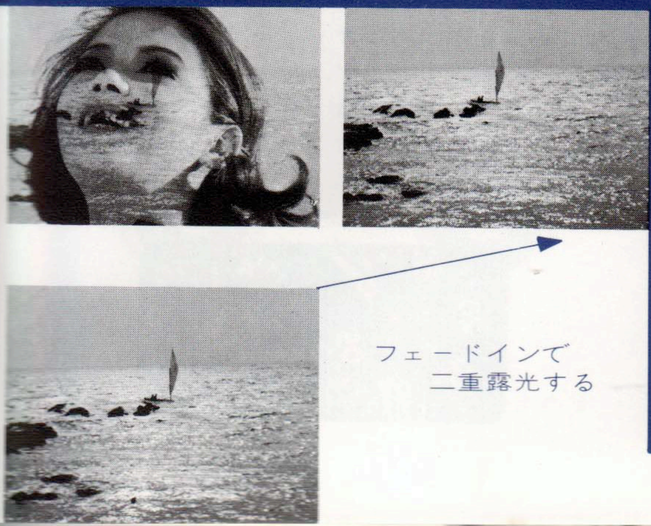
以上の操作で画面が次第に暗くなるところに次のシーンが明るくなりながら出てくるので自然転換されます．

* フェードインとフェードアウトは，同じフィルム上でおこなう関係上，時間とコマ数を正確に合わせる必要があります．もしタイミングを誤まると画面がうまく重ならず良い効果が得られません．また調節リングの回し方も一定にスムーズにおこなうことが必要です．オーバーラップの時間は，5秒以内が適当です．

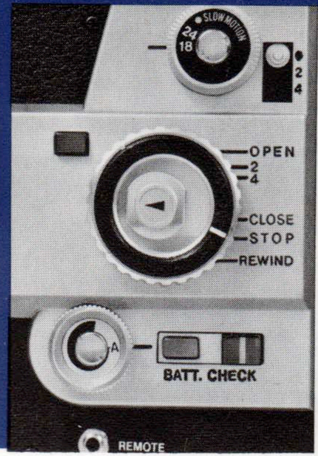
電動巻き戻し

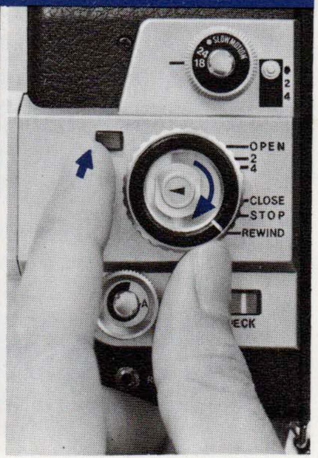
フィルムの巻き戻しは，駆動モーターによって電動式で巻き戻すことができます．

● 調節リングの指標がSTOP位置まで進んだら，次に巻き戻し用安全ボタン(R)を押しながら，リングをREWIND（巻き戻し位置）まで回します．



フェードインで
二重露光する





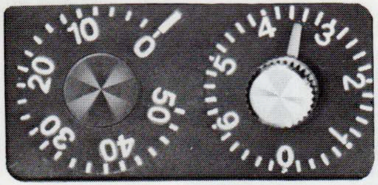
●そしてシャッターレバーを引き，必要量だけフィルムを巻戻します．巻戻しの読取りは，コマ数カウンターで行ない巻戻しのさいレンズキャップの必要はありません．

* フィルムの写し始めにオーバーラップ，多重撮影などでスタート位置まで巻戻した場合，送り爪がスタートマークにかかり，フィルムのパーフォレーションを傷つけます．正転撮影ができなくなってしまいますのでご注意下さい．
* 巻戻し用安全ボタンは，不用意に調節リングが，巻戻し位置まで進まないための装置で，STOPからREWINDへ回すときのみ使用します．
* 巻戻しは，撮影済みフィルムが残量2フィートを越えない時点でおこなってください．ファインダー内予告シグナル点灯後撮影を続け，撮影完了用のフィルム切欠きに送り爪が位置してしまうと巻戻しはできなくなります．
* シャッター開角調節リングを回して(CLOSE)したのち，切換えスイッチをOFFにして開角調節リングをOPENに戻すとフィルムが1コマ露出されることがあります．シャッター開角調節リングをOPEN側に戻すときは切換えスイッチをRにしてから行なってください．

●カウンターの読取りは，巻戻しの際非常に大切です．

コマ数カウンターは1コマ撮りとこの巻戻しのためにあるもので1回転72コマ，1フィート分，1目盛2コマの目盛によってフィルムを読取ることができます．カウンターはフーテージカウンター，コマ数カウンター共にフィルム送りの正逆に連動して回転します．0位置を決める可動指標がありますから，撮影のはじめに指標を0位置に合わせます．従って，0に合わせてからフェードアウトし，コマ数カウンターを読取ってから0位置まで巻戻しをおこない，読取ったコマ数まで，今度はフェードインします．

さらに撮影を続ければオーバーラップが正確に且つきれいに表現できます．重なりは，最大5秒としても90コマ，通常では1フィート72コマ位で止めるのが，最良です．



シャッターレリーズの方法

ランニングロック

連続撮影の際に用います．シャッターレバーを押したまま，切換えスイッチをRL(ランニングロック）にセットするかあるいはスイッチを RL にセットしてからシャッターレバーを引くとシャッターは，押放しとなり連続撮影がおこなえます．

1　リモコンスイッチのプラグをカメラの遠隔操作用ソケット(リモコンソケット)に差込みます．

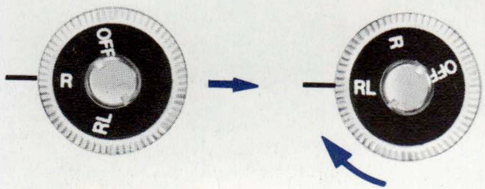
リモートコントロール

アクセサリーのリモートコントロールスイッチ3を用いておこなう遠隔操作です．
動物の生態記録などにご利用ください．

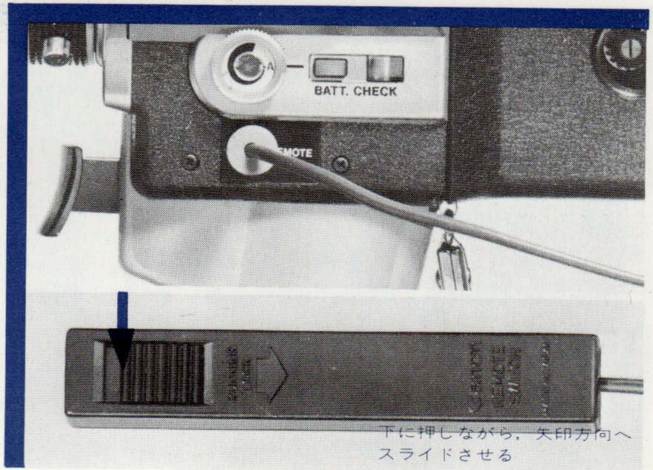
2　切換えスイッチを RL に合わせ，カメラのシャッターレバーを押してランニングロックの状態にします．

3　リモートスイッチのレリーズボタンを押しながら，矢印方向にスライドさせるとシャッターが回転し，ランニングロックになります．

4　スイッチのプラグをカメラから取りはずすときは，必ずカメラの切換えスイッチをRに戻してからおこなってください．もしRに戻さずに取りはずすと，シャッターが作動してフィルムが無駄に送られてしまいます．取りはずしの順を間違えないようご注意ください．



シャッターレバーを引きながらまわす



下に押しながら，矢印方向へ
スライドさせる

* ランニングロックした場合，撮影しないときは，必ずスイッチをOFFにして，電池消耗を防いでください．
* また撮影時には必ず付属のファインダーカバーを接眼部にかけてください．
ファインダーからの逆流光によるゴーストフレアーを防止します．

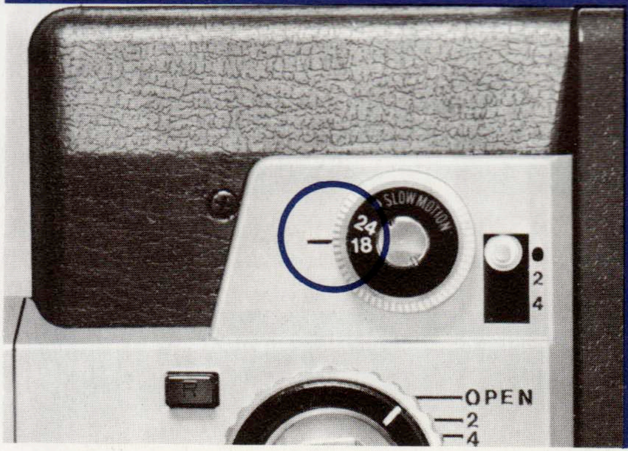
連続用レリーズソケット

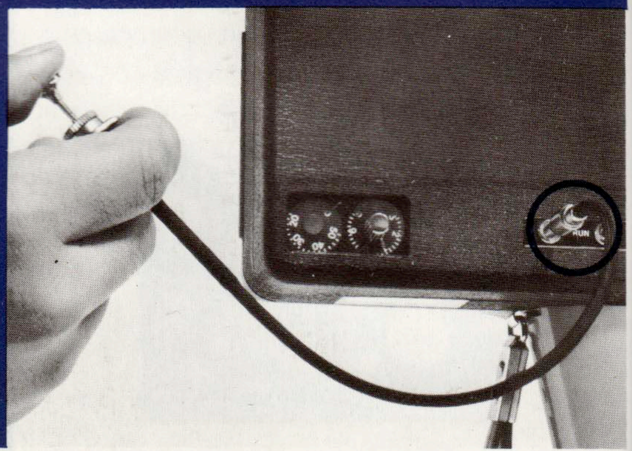
三脚使用時あるいは，タイトル撮影に用いる連続撮影用レリーズソケットが用意されています．

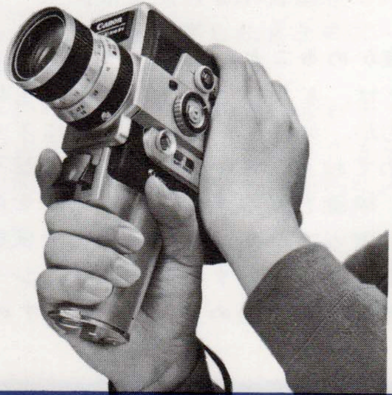
1コマ撮影

1コマ撮りは，アニメーション<動画>とか，草花が開花していく状態の撮影などに用います．

* コマスピードを18コマにセットします．
1コマ撮り用レリーズソケットにケーブルレリーズをねじ込みます．
* レリーズを押すごとに1コマずつシャッターが切れ，フィルムも送られます．
* 1コマ撮りの露出はAUTOに連続しません．そのため手動セットしてください．EEで測光し，次に手動絞りに切換え読取った絞りに指針を合わせ，1コマ撮影をおこないます．
* 1コマ撮りは，手持ち撮影はできません．必ず三脚をご使用ください．







撮影の実際

映画には，さまざまな撮影技法があります．ただシャッターを押すだけでも楽しいものですが，これにズーミングやパンニングの仕方を工夫すればできも一段と引立ちます．

ここに2，3の例をご紹介しますから，ぜひご研究ください．



ズーミング撮影

遠くにあった被写体が，だんだんと近づき，逐には目の前に迫ってくるシーンや，逆に大きく画面一杯になっていた被写体が徐々に遠のいてしまうシーンなどは，映画でも見られ非常に効果のあるものです．

キヤノンシングル-8 518SV は，このズーミング撮影をより簡単にしかも円滑におこなうために，駆動モーターによる電動ズーミングの方式を採用しています．

ボタンを押すだけでファインダーを覗いたまま色々なショットが自由に駆使できます．

ズーミング速度は約6秒でおこなわれ，しかもズーミングムラは，全くありませんから撮影も一段と快適です．

ズーミングについての注意

ズーム効果は，画面効果としてまことに面白いものですが，映写中これが数多く現われると見る目に，かえってわずらわしく観賞上マイナスになる場合も生じます．

したがってその濫用はお避けになるのが賢明です．

また望遠側では，スチールの場合における超望遠レンズ使用時と同様にわずかのブレも画面に影響しますから，ぜひ三脚をご使用ください．

ズーミングの仕方

1 まず確かめること

ズーミングは，どういうときにおこなったらもっとも効果的か，シャッターを押す前にズーミングして確かめておくことが大切です．主被写体をアップして，映画を見る人にズーム効果を楽しませるときや，アップからロングに画面を変換し，その拡がりを見せようとするときには，シャッター以前に画面の構成を決めることをおすすめします．

2 ズーミング速度を変えて撮影

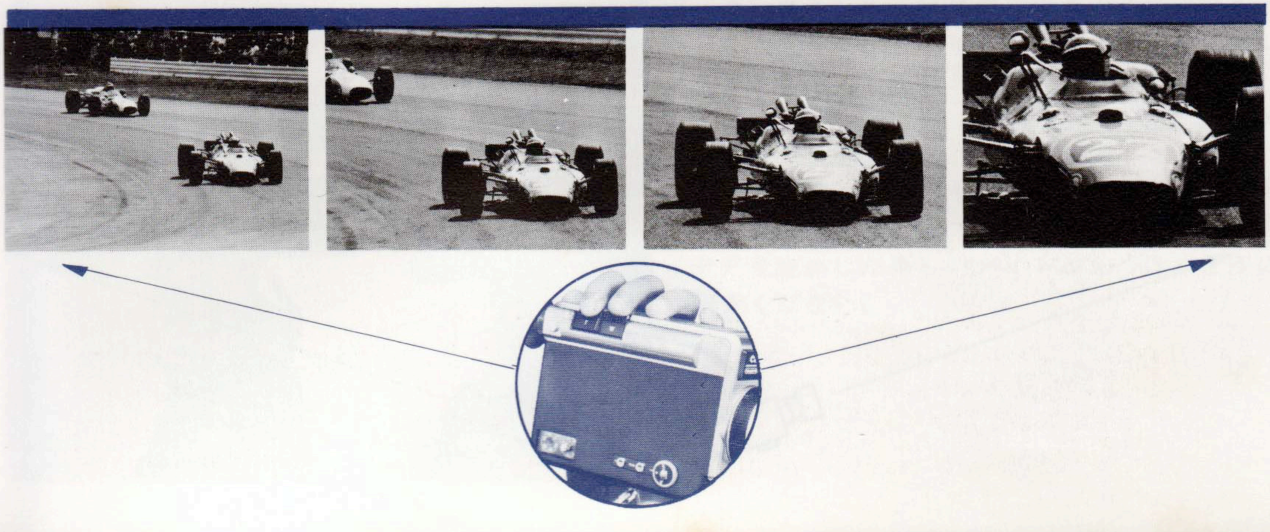
手動ズーミングは，全体のズーミング時間を短縮したり，著しく伸ばしたりすることができます．たとえば，ゆっくりズーミングすると，像倍率の変化を意識させずにズーミングでき，逆に急激に最大最小にズーミングすれば，ショッキングな効果を与えることができ，これらは手動ズーミングの独壇場といえます．また被写体によって，ズーミング速度を変えたいとか，一定の倍率位置を保ちたいときには，手動ズーミングリングによりお好きな焦点路離を選ぶことができます．

3 移動撮影的効果もズーミングで

被写体と一定間隔を保ちながら迫っていく移動撮影効果も，カメラを固定したままのズーミングで表現できます．
たとえば歩み寄る人物の動きに合わせて倍率を一定に保つように静かにズームバックすると人物の大きさが変らず周囲の情景が画面内に入ってくる効果です．

4 僅かにズーミング

ズームアップを最大倍率までおこなわず，希望する画面になったら途中で止めて撮影する方法も，割合い効果のある使い方です．また途中で止めてしばらく撮影したのち，再びズーミングを始め，被写体の動きを最大倍率にズームアップして1カットに収めるのもより変化を与える方法です．



パンニング撮影

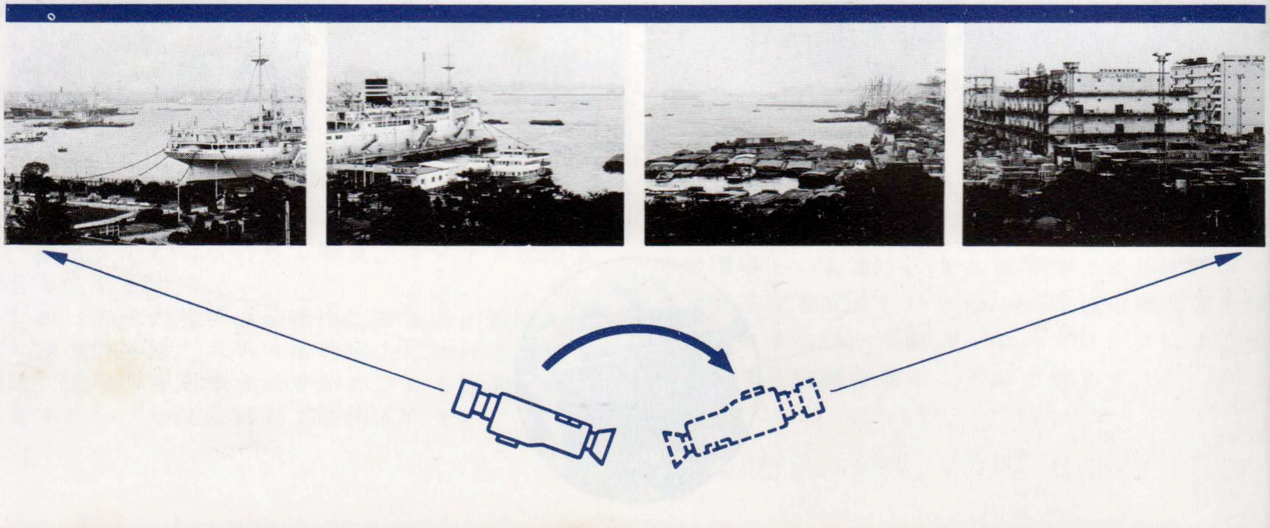
山頂での広い風景，室内の全景などを1カットに収める技法です．カメラを一定位置から順次横に移動させながら連続的に撮影します．三脚を使って安定させ，急激な移動や上下動を与えないことが大切です．

手持ち撮影のときは，両足を開き加減にして立ち，腰から下は動かないように注意し，上体だけを回します．

とかく移動が速くなりがちなので，高速コマで調節することも必要です．

重要な場面に少し時間をかけてしめくくること，パンニング速度は一定にすること，余り広いパンニングは避けることなどが，この技法に上達する近道です．

またズーミングを併用することも興味を盛上げる手段となりましょう．

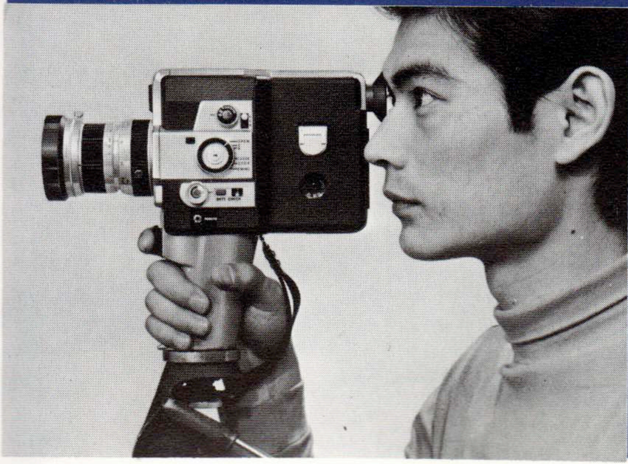


フォローパンニング

移動する被写体を追いながらパンニングする方法です．速い被写体の動きに合わせて追う場合は，つねにファインダーの一定位置に被写体をとらえることが大切です．

ティルティング技法

パンニングは，カメラを左右に回して撮影する技法ですが，上下にパンニングした場合には，ティルティング技法と呼ばれています．上から下へ撮影するのがティルトダウン，下から上へ始めるのがティルトアップです．



タイトル撮影

撮影し終ったフィルムにはタイトルをつけましょう．現像されたフィルムをスプライス（接合）しただけで映写するのでは，折角のストーリーも味気なくなります．

撮影時の数々の思い出を記憶しておくためにも，映画を見る人に楽しさを与え，理解してもらうためにもタイトルは必要です．

タイトルの題名をつけ，内容をまず知らせるためのメインタイトル，一見して製作者の分るクレジットタイトル，内容を文字で補足的に説明するスポークンタイトル，終りのしめくくりをつけるエンドタイトルなどがありますが，少くともメインタイトルとエンドタイトルはつけるようにしましょう．

クレジットタイトルは，製作者のマークなりプロダクトイニシアルなどを決めてしまえばメインタイトルの中へ写し込むこともできます．色々とアイデアを生かした楽しいタイトルをつけるようにご研究ください．

コンバーターの使い方

キヤノンシングル-8 518SVには，広角系ズームに変換するワイドコンバーター－0.65Xと望遠系ズームに変換するテレコンバーター－1.6Xの2種が用意されています．

●取付け後の焦点距離は，レンズ固有の焦点距離にたいして，ワイドコンバーターの場合0.65倍，テレコンバーターの場合1.6倍になります．

したがって，固有の焦点距離9.5～47.5mmがワイドコンバーターの場合6.2～31mmに変り，テレコンバーターでは15.6～78mmに変ります．

これらを活用することできわめて範囲の広い撮影効果を期待できます．ぜひご利用をお勧めします．

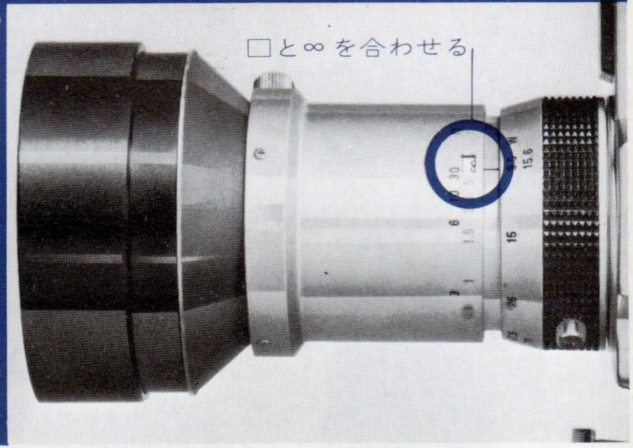
●取付け，取外し

コンバーターは，レンズ部と距離リングから構成されており，距離リング固定ねじによってレンズ部に距離リングが固定されています．ねじをゆるめると両者を別々に外すことができます．

カメラのレンズへの取付けには，距離リングをつけたままレンズ先端からかぶせて，コンバーターをねじ込みます．

＊コンバーターはフィルターねじに取付けられます．





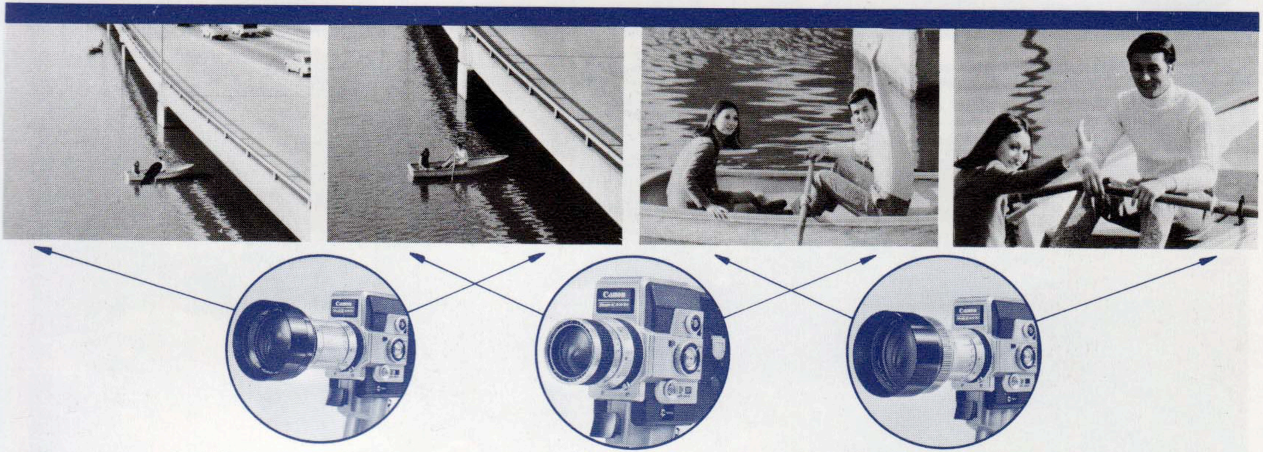
2 距離目盛は，コンバーターとカメラのレンズでは異なるためコンバーター側を使用します．そのため距離リングの位置決めをします．距離リング固定ねじをゆるめ，距離リングを回してリング上の∞（無限遠）窓にレンズの∞目盛が見えるように調節し，固定ねじを締めつけます．

3 ズーミングやフォーカシングは，通常の扱いと同じです．

4 コンバーターと距離リングを別々に取付けてもかまいません．

＊取付け時に距離リングのねじがゆるんでいるとコンバーターのレンズ部が落ちますからご注意ください．

	ワイドコンバーター0.65X	テレコンバーター1.6X
レンズ構成	4群5枚 アフォーカルシステム	4群5枚 アフォーカルシステム
取付け後の焦点距離	6.2mm～31mm	15.6mm～78mm
明るさ	変らず	
ズーム比	変らず	
コーティング	スペクトラコーティング	
フィルターサイズ	72mm	
キャップサイズ	80mm	
レンズフード	組込み	
大きさ	80mm φ ×87mm	80mm φ ×80mm
重量	430gr	420gr



ワイドコンバーター0.65X
価格　18,000円（ケース 1,000円）

テレコンバーター1.6X
価格　15,000円（ケース 1,000円）

クローズアップレンズ C-8（8mm 専用）

キヤノンシングル-8 518 SV は，パララックスのない一眼レフ式ファインダーをもっていますから，クローズアップ撮影も，見たそのままが写せます．レンズ先端に取付けるだけで，タイトル撮影，文献の複写，草花，昆虫などの撮影に威力を発揮できます．

48mm クローズアップレンズ 450・240 C-8

各 4,500円

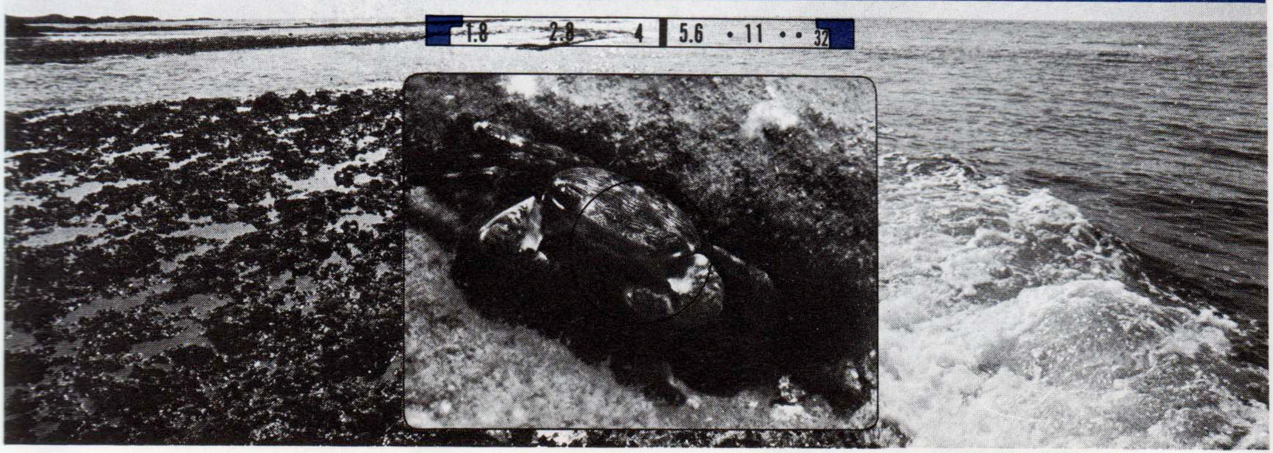


各クローズアップレンズの数値（450,240）は、距離目盛が無限遠のときクローズアップレンズ先端からの撮影距離が、各々450mm、240mmであることをあらわしています。

撮影距離と画界

	48mmクローズアップレンズ450				48mmクローズアップレンズ240			
焦点距離	9.5mm		47.5mm		9.5mm		47.5mm	
距離目盛	∞	1.2m	∞	1.2m	∞	1.2m	∞	1.2m
撮影距離	580mm	450mm	580mm	450mm	370mm	330mm	370mm	330mm
画　界	259×192mm	173×129mm	52×38mm	35×26mm	139×103mm	108×80mm	28×21mm	22×16mm

表中　撮影距離の数値はフィルム位置マークからの値です



フィルター

キヤノンシングル-8 518 SV のメーターは，レンズを通した光を測定するTTL方式を採用していますから，露出倍数に関係なく，使用目的に応じたフィルターを自由に選んでご使用になれます．本体のレンズ用には48mm，コンバーター用には72mm 径のものが用意されています．



48mm フィルター　Y_1，Y_3，O_1，G_1，R_1，UV，ND4，ND8，CCA4，CCB4，CCA8，CCA(12)，CCB(12)，SKY　各900円

72mm フィルター　Y_3，R_1，UV，ND4，ND8，CCA4，CCB4，CCA8，CCA(12)，CCB(12)，SKY　各3,000円

種　　類		フィルター効果
UV (SL39·3C)	黒白，カラー共通	・紫外線だけを吸収し，各色光には無影響です．海浜，高山などの紫外線の多い所では特に有効です．カラー撮影の常用フィルターとしてもおすすめします．
Y 1 (SY44・2 C)	黒白用	・黒白フィルムに利用して，写すもののコントラストを強め，海の色を整えたり，青空をおさえて白雲を浮き出させます．赤や黄色は多少明るくなります．
Y 3 (SY50・2 C)	黒白用	
G 1 (MG55 C)	黒白用	・赤が極端に白くなるのを防ぎ，空や顔を適当な明るさの調子にし，新緑などの明るさもそのまま表現します．
O 1 (SO56・2 C)	黒白用	・青色はかなり暗く，黄や赤が見た目より大分明るくなります．コントラストを強調し遠景には特に有利です．
R 1 (SR60・2 C)	黒白，赤外共用	・コントラストを強調し，場合によっては白昼の調子も夜景に近くなります．
スカイライト	黒白カラー共用	・青空や木蔭の色を自然に近づける作用をします．
ND 4　ND 8	黒白カラー共用	・ND 4 は 1/4，ND 8 は 1/8に光量を減じます．カラーの色再現性には全く影響がありません(露出調節用)
CCA 4	カラー用	・デイライトタイプフィルムで，曇天あるいは晴天の日蔭の撮影に青味を除きます．
CCB 4	カラー用	・デイライトタイプフィルムで朝夕の撮影に赤味を除きます．
CCA 8	カラー用	・タングステンタイプフィルムで朝夕用です．
CCA (12相当)	カラー用	・タングステンタイプを太陽光下で撮影する場合に色温度を転換するカラーフィルム専用のフィルターです．
CCB (12相当)	カラー用	・デイライトタイプフィルムを電灯光下で撮影するための色温度転換フィルターです．

アクセサリー

リモートスイッチ3	600円
レンズフードS－50	800円
キヤノンレリーズ30	550円
〃 50	800円

コピースタンド4 11,000円

構成：支柱、アーム、取付け金具または座金

ビニールカバー、ファインダーカバー、収納ケース

タイトル撮影だけでなく複写、近接、1コマ撮影などに便利です．クローズアップレンズの併用もおすすめします．

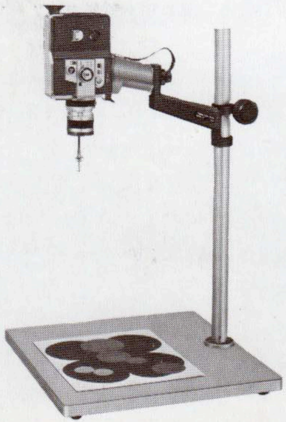
日中映写卓上型プロジェクター

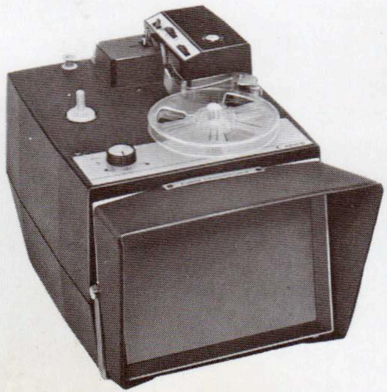
キヤノビジョン8－2

明るい場所でも見ることのできるテレビ型8ミリ映写機です．

特殊反射防止画面を採用してあるため，斜めからも見ることができ，レバーの切り換えで，スーパー8・シングル8，レギュラー8の3種のフィルムが映写できます．一コマ映写も新らたに加わり，フィルムはさし込み口に入れるだけのオートローディング機構です．キヤノンレンズ11mm F2.5，スペアランプ100V 150W付

現金正価 23,000円





ご注意

ファインダーから眼を離して撮影する場合，リモートコントロール，タイトル撮影，あるいは三脚を使ってパンニング撮影をするときなどのように，ファインダーから眼を離してシャッターを切るさいには，必ずファインダーカバーを接眼部にかぶせてください．理由は，ファインダーから，フィルムへ逆流する光を防ぐためです．

手　入　れ

フィルムゲートは，よく手入れをしておくこと．フィルムゲートには，フィルムのカスや塵などがたまりやすく，故障やフィルムを傷つける原因になります．ときどき柔いブラシやブロワーを使って掃除してください．固く付着した場合は，つま楊枝程度のもので取りのぞきます．金属など硬いものはさけてください．

カメラをしまっておくには

ケースからはずし，湿気やほこりのないところにしまってください．樟脳やナフタリンなどをそばにおかないようご注意ください．また電池類は抜いておきましょう．カメラは長い間しまいこんでおくよりもむしろしばしば使用している方が無難です．

レンズには手をふれないこと

ごみはブロワーで吹飛ばすか，刷毛で払う程度にとどめておいてください．指紋などをつけた場合には，シリコンクロスで軽く拭きとってください．強く拭くとレンズをいためるおそれがあります．

カメラを海中に落すと

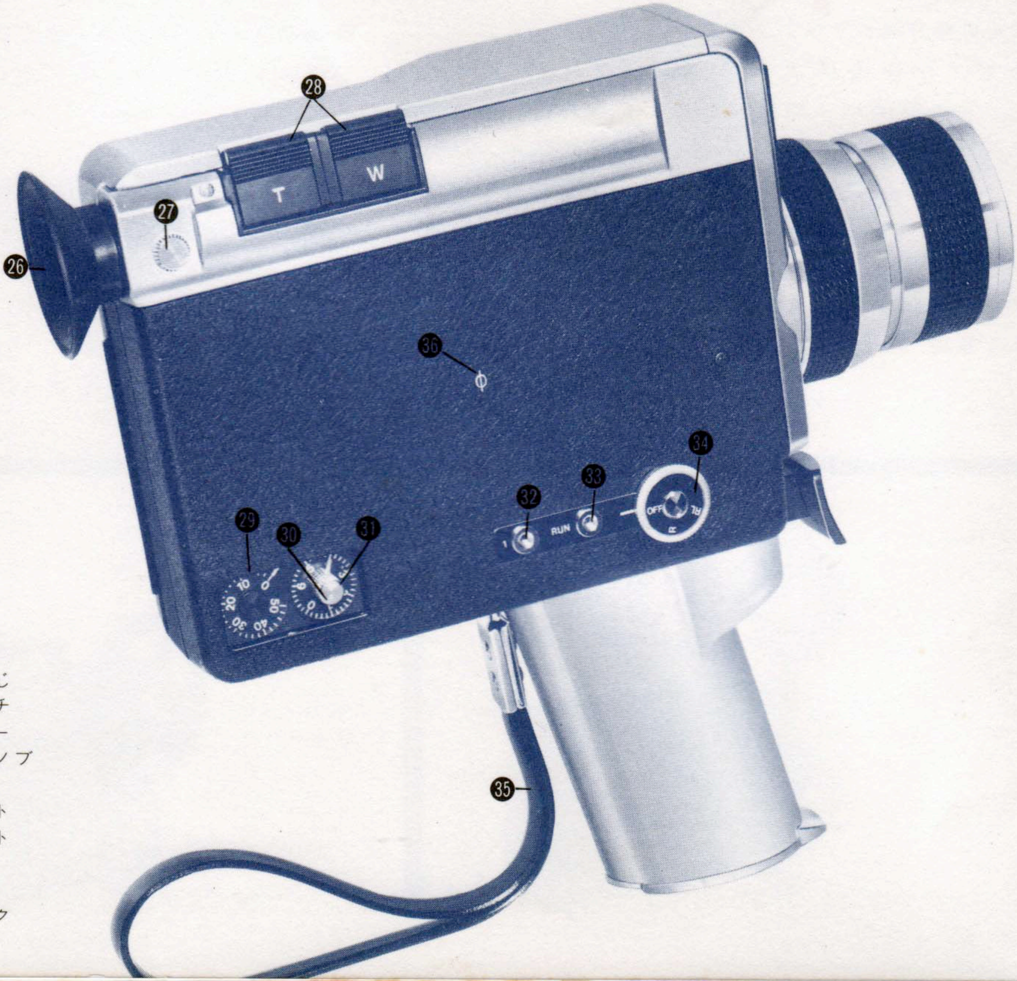
殆んど修理不能になります．落さぬよう気をつけてください．万一落した場合には，サービス　ステーションにご相談ください．

安全ロック

カメラを肩から下げて歩いたり，ケースに収納するようなときには，必ず切換えスイッチをOFFに回しておきましょう．

高温の場所では

カメラは高温の場所に放置しないで下さい．車のリアウィンドーやトランクの中は60°C以上になることがありますから，とくにご注意下さい．



26　アイピースフード
27　視度調節用止めねじ
28　ズーミングスイッチ
29　フィルムカウンター
30　可動式巻戻し指標ノブ
31　コマ数カウンター
32　１コマ撮りソケット
33　ランニングソケット
34　切換えスイッチ
35　リストストラップ
36　フィルム位置マーク

完全自動万能型プロジェクター

キヤノンシネスターS-400

フィルム装填から巻き戻しまで完全自動化．8コマ／秒のスローモーション映写の組み込み，400ftリールなど，使いやすさと，楽しさを増したプロジェクターです．スーパー8・シングル8，レギュラー8の3種のフィルムが使用できます．

PS17～28mm　F1.3 ズームレンズ付

映写電球 8V 50W付　　現金正価 34,000円

高級機ファンのための，8ミリシネプロジェクター

新製品 キヤノンシネプロジェクターT-1

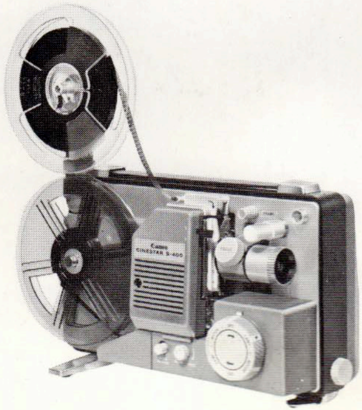
F1.0という大口径新鋭ズームレンズの開発，2段式スローモーション，パルス同期式テープトーキー映写に加え，FTS同期映写などをはじめ停止映写，逆転映写などの機能を備えた最高級8ミリプロジェクターです．

PS17～28mm F1.0ズームレンズ付

映写電球 21V 150W

コールドミラー付ハロゲンランプ

現金正価 88,000円





キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

東京都港区芝公園2－3－21　〒105　☎ (03) 432－8111

東京営業部・(105)	東京都港区芝公園2－3－21	(03) 432－8111
〃 千葉分室・(280)	千葉市千葉港4番3号（千葉県私学会館4階）	(0472) 43－9624
大阪営業部・(541)	大阪市東区瓦町5－39（大阪化繊会館3階）	(06) 202－6761
〃 京都分室・(600)	京都市下京区四条通東洞院角（富国生命ビル4階）	(075) 211－1388
サービスステーション		
銀座・(104)	東京都中央区銀座5－9－9	(03) 572－4251
大阪・(530)	大阪市北区梅田2（第一生命ビル2階）	(06) 341－9335
名古屋・(450)	名古屋市中村区堀内町4－1（毎日会館2階）	(052) 581－3811
営業所・サービスステーション		
札幌・(060)	札幌市中央区北三条西4－1（第一生命ビル4階）	(011) 231－1313
仙台・(980)	仙台市一番町1－1－30（やまと生命仙台ビル6階）	(0222) 66－4151～7
新潟・(950)	新潟市東大通1－4－1（マルタケビル7階）	(0252) 46－0131～3
横浜・(231)	横浜市中区南仲通り4－39（石橋ビル1階）	(045) 201－2176
静岡・(420)	静岡市鷹匠2－7－2（静米会館1階）	(0542) 55－2241
名古屋・(466)	名古屋市昭和区阿由知通4-13（朝日生命ビル6階）	(052) 851－4551
岡山・(700)	岡山市平和町4番7号	(0862) 22－8228
広島・(730)	広島市幟町14－11	(0822) 21－4615～6
福岡・(812)	福岡市博多区博多駅前4－20－23（セントラルビル1階）	(092) 41－4172

PUB. NO. 0403I　　0772N2.4　　PRINTED IN JAPAN

Precaution for adjusting the angle of shutter

If the variable shutter control lever is set to CLOSE, main switch to OFF, and then the lever to OPEN, unwanted single frame may be exposed. When shifting the variable shutter control lever from CLOSE to OPEN, make it sure to set the main switch to AUTO.

キヤノンシングル-8 518 SVとキヤノンズーム DS-8 のシャッター開角調節の注意

操作ダイアル（シャッター開角調節レバー）を調節して停止したのち，切り換えスイッチ（3ウェイスイッチ）をＯＦＦにして操作ダイアルをOPENに戻すとフィルムが1コマ露出されることがあります．操作ダイアルをOPEN側に回すときは切り換えスイッチをR（AUTO）にしてから行なってください．

※（　）内はズームＤＳ-８の名称です．